

衆議院議長 額賀 福志郎 殿
参議院議長 尾辻 秀久 殿
内閣総理大臣 岸田 文雄 殿
厚生労働大臣 武見 敬三 殿
内閣官房長官 林 芳正 殿

医薬品や医療機器の安定供給確保ならびにイノベーション推進を求める意見書

一部メーカーの製造管理及び品質管理の不正問題に端を発する医薬品や医療材料の供給不安は、需給のひっ迫に加え、政府の頻繁な薬価引き下げや昨今の原材料価格の高騰に伴うメーカーの採算悪化によって、実に3年以上にわたって継続している。

この間、医療機関や薬局においては、医薬品の入手が極めて困難となっており、一部では必要な薬が患者に届かない事態を招くなど、国民の命と健康に影響を及ぼしかねない事態が続いている。またコロナ禍において、ワクチンや治療薬の開発で諸外国から後れを取るなど、我が国のイノベーション創出力の低下も明らかとなっている。

こういった事態を踏まえ、国では供給不足の医薬品を早期に安定供給できるようメーカーへの増産要請を行うなど、様々な対応を講じているが、依然として深刻な状態が継続している。

現下の供給不安を一刻も早く解消し、かつ将来にわたって、国民に医薬品や医療材料を安定的に供給し、かつイノベーション創出を促すためには、設備投資や人的投資を困難に陥らせている現行制度の見直しを図る必要がある。

よって、国会および政府に対し、中間年改定の廃止を含めた薬価制度の抜本的見直し、さらには医薬品の流通改善の取り組み推進を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月22日

四條畷市議会